

## I. 緩和ケアチーム依頼件数

①疼痛緩和、②疼痛以外の症状③精神症状、④家族ケア、⑤その他  
平成25年度 10月依頼件数：5件

No	依頼日～終了日	訪問回数	診療科	患者背景	診断名と依頼内容	転帰
190	10月17日～17日	2	7A泌尿器	80代男性	膀胱がん、①、②、④、⑤	死亡
191	10月3日～10日	1	7A泌尿器	60代男性	前立腺がん、②、⑤、	介入終了
192	10月10日～	1	7A泌尿器	80代男性	左腎がん、①、	
193	10月10日～12日	1	7A泌尿器	80代男性	膀胱がん、悪性黒色腫、④⑤	死亡
194	10月31日～	5	6B呼吸器	60代男性	肺がん、①、	

平成25年度 11月依頼件数:5件

No	依頼日～終了日	訪問回数	診療科	患者背景	診断名と依頼内容	転帰
195	11月6日～18日	2	7A泌尿器	70代男性	前立腺癌、①	退院
196	11月13日～21日	1	7A消化器	60代男性	肝がん、①、②、⑤、	死亡
197	11月13日～	3	7A泌尿器	60代女性	卵巣癌、①	
198	11月14日～	4	7A泌尿器	60代男性	膀胱がん、①、④、⑤	
199	11月18日～	3	7A泌尿器	70代男性	前立腺癌、①、④、⑤	

## II. 緩和ケアに関する相談記録(がん相談支援センター)

平成25年度 10月依頼件数：6件 11月依頼件数:7件

### 山本組合総合病院 緩和ケア市民公開講座を終えて・・・

12月7日、プラザ都にて緩和ケア市民公開講座が開催されました。講師として、清水先生、高橋先生のお二人をお招きし140名の方々が参加されました。清水先生からは、若くしてターミナルとなった女性がん患者から、「私はまだ長く生きられますよね」と尋ねられ、悩んだ末に否定した回答をした結果、患者が激高してしまった苦いエピソードなどが紹介された。また、高橋先生からは、在宅の患者は仏壇にお供えすることがニードとして多いことや、元居酒屋経営のターミナルのがん患者さんが深夜にお亡くなりになった時に、直ぐに高橋先生と患者さんの仲間(お客さん)で集まり、皆で患者さんを賑やかに弔ったエピソードなどが紹介された。両講師の実経験に基づいたお話に、参加者の皆様は聞き入り、ターミナルケアや緩和ケアの在り方には100%の模範解答はなく、患者・家族・医療従事者の皆で見つけていくものであることが感じ取れたと思います。

